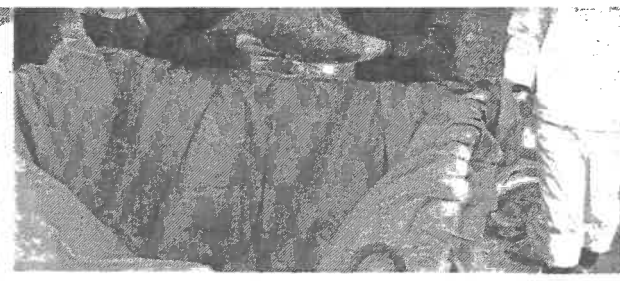


漂着物対応で

# 朝仁海岸に回収箱

大島支庁建設課



建協奄美支部も協力した回収箱＝奄美市の現地

建設課は6朝仁海岸に漂着油回収用ボックスを設置した。住民らボランティアにより回収作業で同海岸に野積みされた

回収作業は2・4mの鋼製ボックス。県建設業協会奄美支部(村上慎一郎支部長)の協力を得て同海岸中央部に据えられた。

5日には同市根瀬部海岸で回収作業の課題や手順を確認するため試験的作業を実施。身体や衣類への油付着を防ぐための防護対策を施し、手や大ばさみ、スコップ等を使用して25㎡範囲内から約55kgの油付着物を採取した。職員はそれら前日に集めた回収物と朝仁海岸

# 受発注者が連携



鹿児島労働局健康安全課の大澤隆課長が、昨年12月末の死傷災害発生状況を紹介。建設業の死亡災害発生状況を

鹿児島労働局健康安全課の大澤隆課長が、昨年12月末の死傷災害発生状況を紹介。建設業の死亡災害発生状況を

鹿児島労働局健康安全課の大澤隆課長が、昨年12月末の死傷災害発生状況を紹介。建設業の死亡災害発生状況を

鹿児島労働局健康安全課の大澤隆課長が、昨年12月末の死傷災害発生状況を紹介。建設業の死亡災害発生状況を

鹿児島労働局健康安全課の大澤隆課長が、昨年12月末の死傷災害発生状況を紹介。建設業の死亡災害発生状況を

鹿児島労働局健康安全課の大澤隆課長が、昨年12月末の死傷災害発生状況を紹介。建設業の死亡災害発生状況を

けた情報や意見交換を行い、今年1年の労働災害防止を誓い合った。大会は、受発注者が一体となり安全意識向上を

情報共有を行い、快適な現場環境を図るもの。同年度の目標は、「受発注者間連携による事故ゼロを目指して」。

このほか、鹿児島港湾合同庁舎(28)建築を担当する三井住友建設九州支店の村上恒由現場代理人が、防火やテロ対策、熱中症対策などの事例を

このほか、鹿児島港湾合同庁舎(28)建築を担当する三井住友建設九州支店の村上恒由現場代理人が、防火やテロ対策、熱中症対策などの事例を

このほか、鹿児島港湾合同庁舎(28)建築を担当する三井住友建設九州支店の村上恒由現場代理人が、防火やテロ対策、熱中症対策などの事例を

## 産廃リサイクル推進セミナー 工事間で利用を

県と県産産廃物協会(永田雄一会長)は6日、鹿屋市のかのや大黒グラ



同日は、泥土リサイクル協会の野口真一事務局長が「建設汚泥のリサイクルについて」と題して解説。発生土における汚泥の位置付けから建設汚泥の定義

同日は、泥土リサイクル協会の野口真一事務局長が「建設汚泥のリサイクルについて」と題して解説。発生土における汚泥の位置付けから建設汚泥の定義

に野積みされた回収物をビニールシートの上に広げ、油が付着した木片やプラスチック、石、網の状態を確認したあと、再びビニール袋で詰めて直

ボックスに入れ、一部は今後の分別判断のサンプルとして事務所に持ち帰ることとした。

奄美群島各地に広がる漂着物の回収は現在一部早期対応が迫られる中、

島田公史建設課長は「回収手順や分別など含め緊急に調査検討し、一両日中には本格的な回収作業に向けた方向性を決めた」と述べた。

## 志布志港でパト 年度末災害ゼロで

志布志港工事安全連絡会議(議長・柳田和喜九州地方整備局志布志港湾事務所長)と志布志港安

同日のパトには16人が参加。現場での確認作業をしたあと、同市の志布志港湾事務所で講評が行われ、一つ一つチェック項目を確認し、年度末の繁忙期に向けて受発注者が連携して工期内完成、災害ゼロを誓い合った。

## 域貢献活動

③場所 ④参加人数 ⑤活動内容 ⑥コメント ⑦参加業者

サービス 天草屋 進和総業 イマックス 新栄 ロードエンタープライズ 喜十 ヤマト産業

### 南九州市川辺町の6社

- ①南九州市川辺町の6社 ②1月30日午前8時～正午 ③南九州市の川辺二日市会場近く

- ⑦桑畑建設 橋口建設 加覧組 大坪建設 吉留建設 森田建設

### 小牧建設

- ①小牧建設(小牧隆社長) ②1月30日午前9時～11時 ③鹿児島市の鹿児島中央駅前から